

広報

こらた'81 4

臨時号

発行・幸田町役場 愛知県額田郡幸田町大字菱池字黒方11番地
編集・企画課 ☎ ☎ 2-1111 (有)2458 印刷・ヨシノ印刷所



★3月に完成した勤労者体育センター

昭和56年度

住民行動テーマ

*資源を大切に

まちを美しくしよう

*町民総スポーツ運動を

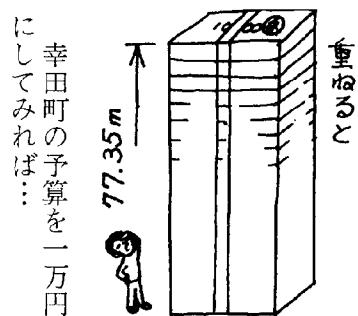
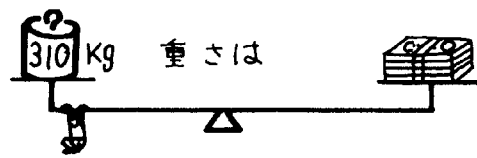
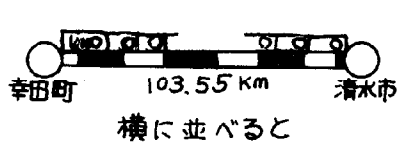
推進しよう

*みんなで青少年の非行防止と

健全育成に努めよう

*みんなの自覚で

交通事故をなくそう



昭和56年度当初予算

総額59億5000万円

— 一般会計 40億6500万円 —

予算全体では25%の伸び

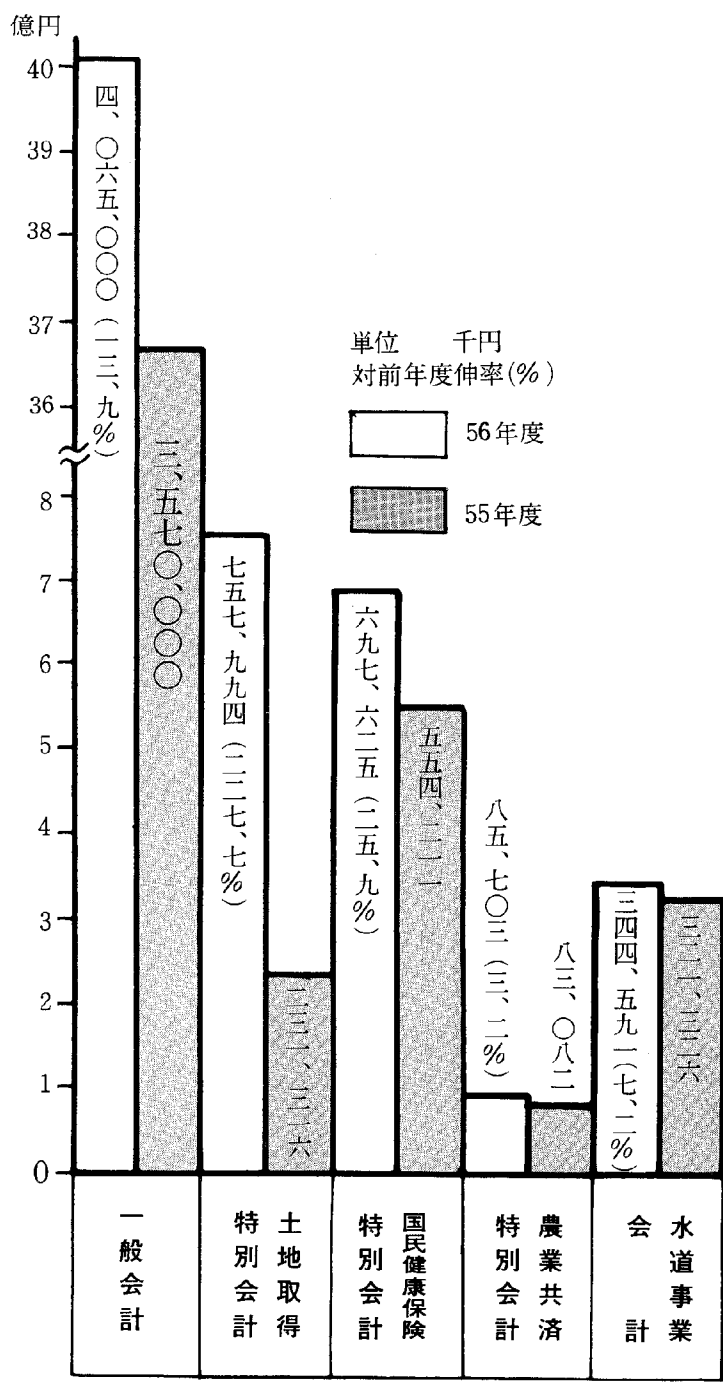
昭和五六年幸田町議会第一回定例会は、三月九日に招集され、会期を三月二〇日までの一二日間と定めたあと、昭和五六年度幸田町一般会計予算、四〇億六、五〇〇万円を含む、総額五九億五、九一一万円の予算案など、二四の議案が慎重に審議され、いずれも可決、採択されました。

なお町長は、議案の上程に先だって「昭和五六年度施政方針と予算の概要」を表明しました。

昭和五六年 増加する人口と、行政需要の多
度当初予算は、様化に因應するため、町議会一般
試験の八〇年 質問、住民参加集会、各種団体
代を踏まえて、との行政懇談会などの意見を十
分検討し、依然厳しい財政事情
のなか、細部にも配慮して編成
されました。

予算規模は総額で五九億五、
八三、〇八二
三、二二一、二二六
三四四、五九二(七、二%)

〇〇〇万円で、二五%の大幅な
伸びを見込み、総合予算として
計上し、会計別には、一般会計
が四〇億六、五〇〇万円(対前
年度伸率一三・九%)で国の予
算の九・九%の伸びを上回って
います。また、土地取得特別会
計七億五、八〇〇万円(同二二
七・七%)国民健康保険特別会
計六億九、八〇〇万円(同二五
・九%)、農業共済特別会計八、
六〇〇万円(同三・二%)、水道
事業会計三億四、五〇〇万円(同
七・二%)と、それぞれ前年度
を上回り編成されています。

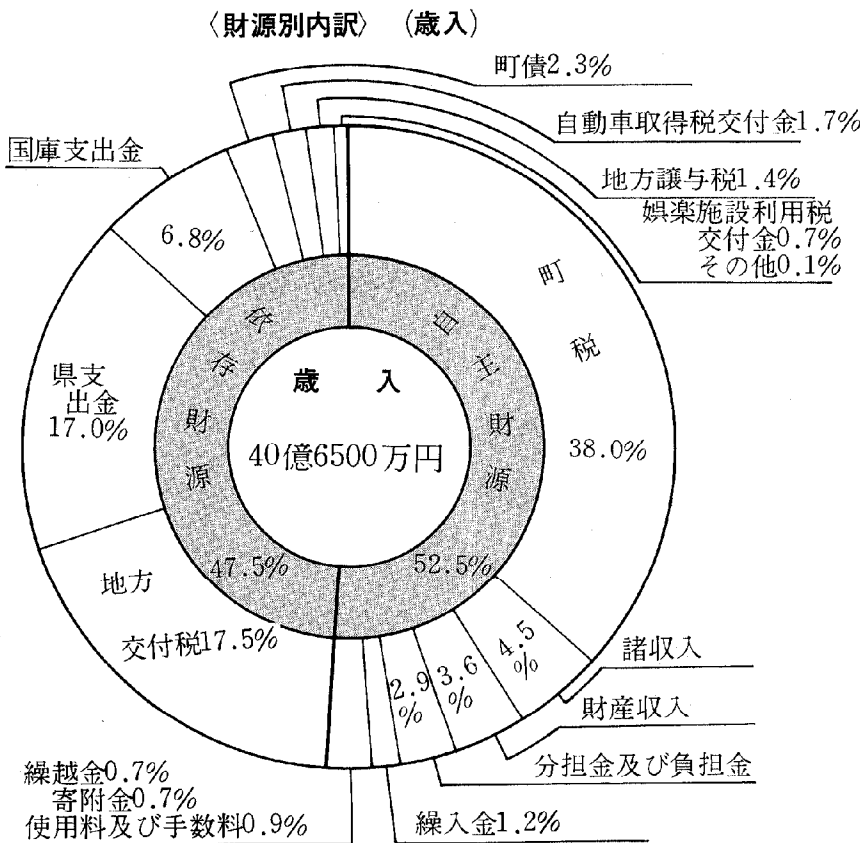


一般会計の概要

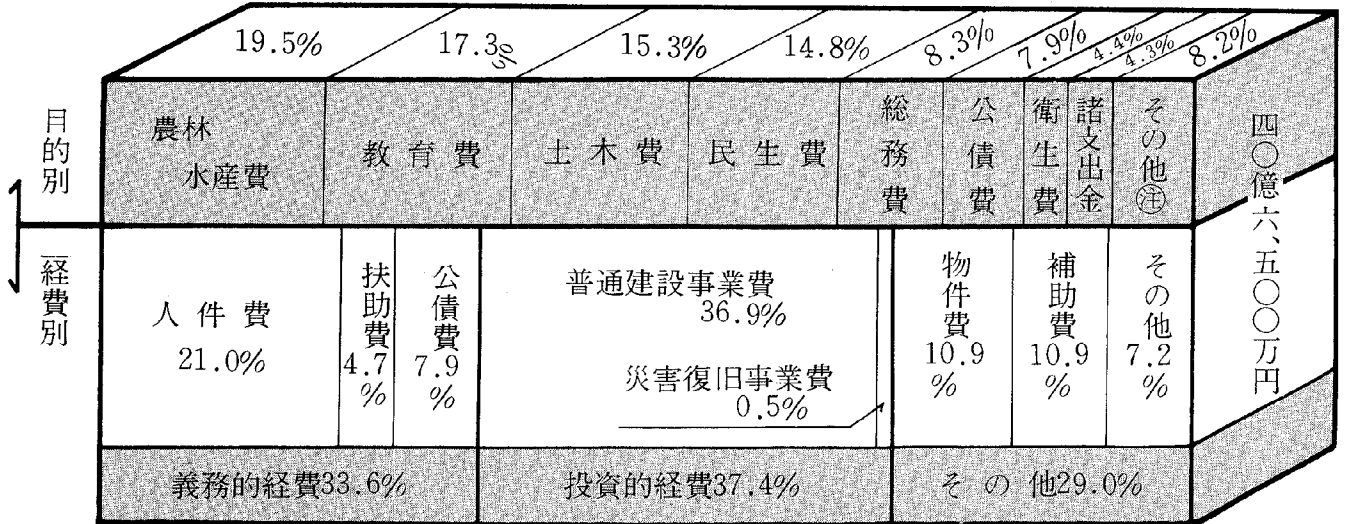
対前年度伸率、一三・九位の伸びを示した一般会計約四〇億円の概要は、歳入において、中央小学校関係を含む国庫支出金約二億円および町債の一億七、〇〇〇万円の減少をみたものの、税金の好調な伸びにより約二億九、七〇〇万円、カントリーエ

レベーター関係を含む県支出金の約三億円、財産収入の約九、七〇〇万円および教育基金の取りくずし五、〇〇〇万円の増額を見込んだものであります。歳出においては、具体的には町長の「施政方針と予算の概要」にあります、新規事業として「授産所建設事業（民生）勤労者体育センター・駅西駐車場運営事業（労働）、カントリーエ

レベーター補助金（農林水産）、町道整備事業増額（土木）、化学消防ポンプ車（消防）、中央運動場夜間照明施設（教育）などがあります。

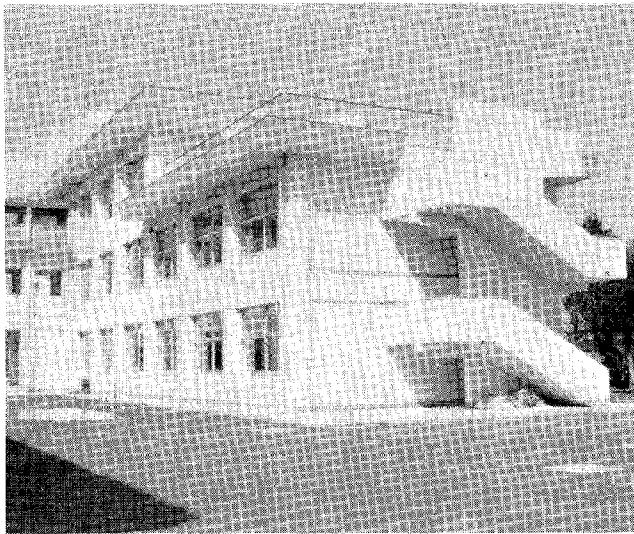


〈目的別、経費別内訳〉 (歳出)



財政用語

- ▼ 自主財源…町が自主的に収入するもので、地方税の外に負担金、使用料手数料、財産収入、寄附金などがあります。
- ▼ 依存財源…自主財源に対する区分で、国や県の意志決定に基づき収入されるもので、国庫の支出金、地方交付税、地方債などが主なものです。
- ▼ 義務的経費…前者は歳入の区分ですが、これは歳出の区分の仕方、支出が義務付けられ、自由に節約できない経費で、一般的には、人件費、扶助費、公債費とされています。
- ▼ 投資的経費…支出の効果が資本形成にむけられ、施設などが将来に残るもので普通建設事業費、災害復旧事業費です。
- ▼ その他…歳出の内、前記二経費の外に区分されるもので、物件費、維持補修費、補助費、他会計などへの繰出金、および将来のための基金への積立金などがあります。
- ⑤ 消防費三・六億、議会費一・七億、商工費一・二億、労働費〇・七億、予備費〇・五億、災害復旧費〇・五億。



幸田小学校々舎

昭和56年度 施政方針

と



幸田町長

磯部光雄

予算の大要

昭和五五年度においては、幸田保育園、幸田小学校々舎の増築、勤労者体育センターも完成し、一方永野老人憩の家も完成し、町内全地区に近代的集会所施設が完備され、和やかな町づくりが更に前進できたことを感謝します。

幸田町においては、概ね毎年六〇〇名近くの人口が増加し、その為都市化が進んでおります。今後は新旧住民がより心のふれあいを高めながら、よき風習伝統を発展させ、一層住みよいふるさとづくりへの努力が大切でありますとともに、人口増加に伴う義務教育施設や体育文化施設の建設整備と住みよいまちづくりの為の下水道、市街化区域内の整備等社会資本の充実が要求され、併せて町民の願望である新庁舎の建設等、巨額の財政需要が必要であります。加えて年とともに、エネルギー、諸物価の高騰等、国、地方とも厳しい行財政の状態にあります。本年度は昭和六〇年度を目標にした幸田町新総合計画も中間年次を過ぎたので、今後5年間の実施計画を具体的に樹立し、その第一年度としての諸計画即ち、市街化区域の整備、公園街路、ほ場整備、新農業構造改善事業庁舎建設調査、計画の樹立に全

力を傾けるとともに、本年度中に新設中学校の敷地造成、幸田文化公園の用地取得は是非とも達成致したいと思っております。八〇年代は不安定、不確実な時代と言われます。それ故に冷静に心を取り戻し、精神的な充実が求められる時代だと思っております。そこで昭和五六年度において

予算編成方針と

概要

は、町民の精神的よりどころと心の豊かさや町民の連帯感、誇りあるふるさとづくりのための町民憲章を制定し、町民の意識高揚の上に、町民が挙って総合計画を理解、その実施に力を結集し、この困難な時局に対処していきたいと思っております。

昭和五六年度の予算編成にあたっては、上記の考えを踏まえながら、五五年度における町議会一般質問、各区との行政懇談会、各種団体からの要望等を十分検討し、厳しい財政事情のなか細部にも配慮いたし編成したつもりであります。

昭和五六年度の予算編成の方針と概要であります。予算規模は一般会計四〇億六、五〇〇万円。前年度に比し、一三・九%の増加であります。国の予算九・九%、県予算七・二%を上回っております。これは昭和五六年度に農協のカントリーエレベーター建設補助費三億五、一〇〇万円と昨年造成した中学校運動場の買戻し約二億円と土木事業

費を増額したためであります。

又特別会計では、

国民健康保険特別会計

六億九、七六三万円

農業共済特別会計

八、五七〇万円

土地取得特別会計

七億五、七九九万円

水道事業特別会計

三億四、四五九万円

でそれぞれ二五・九%、三・二%、二二・七%、七・二%の増加であります。特に土地取得特別会計は深溝の公共用地的造成費と芦谷地区公園用地の取得のため大幅な増加となっております。

一般、特別会計合わせて総額五

九億五、〇九一万円です。

歳入

ここで、一般会計予算を中心
にその内容のあらましを申し上げ
ますと、まず、歳入については
町税、地方交付税、地方譲与
税等の一般財源は二〇億六、七
九八万円で歳入予算の六三・二
割を占めており町税の伸びも五
五年度実績からは順調でありま
すが、町民の努力の結晶である
貴重な財源でありますから課税
には、特に公平、適正を期した
と思います。

保育料については運営経費の
増嵩のため、保護者の適正負担
を求めることとなりますが、厳し
い経済事情の中であり、町費を
昨年の八、八七九万円から一億
一、二九八万円に増額いたし極力
保護者負担の抑制に努めました。
次に国、県の支出金については
九億六、五三五万円と昨年比
一二割増を予定いたしました。こ
れは地域農業総合振興事業に
よるカントリーエレベーター建設
補助金三億二、五〇〇万円を計
上したため増加したものであり

ます。
土地改良事業産業関係等に
おいては、その受入れ体制を十分
整備し計画的に国県の補助事業
の導入に関係者とともに努力し
たいと思います。

寄附金については二、八二四
万円で昨年比五一一三万円の減で
土木、土地改良事業等において
は年々負担の軽減を図っており

ますが事業実施に当っては更に
十分な検討を行い出来る限り、
負担の軽減を図り、社会資本の
充実と生活道路の整備、土地基
盤の整備等を図り、又親切行政
は一件十万円までは関係者負担
をなくし、一層町民の要望に応
えるように配慮いたした次第で
あります。



幸田保育国新園舎

歳出

一方歳出については、義務的
経費である人件費、扶助費、公
債費は一三億六、五三九万円で

歳出総額の三三・六割建設事業
費は一四億九、九〇三万円三六
・九割、また物件費及びその他
は一二億〇、〇五八万円二九・
五割となっております。
従ってこれら歳出予算の執行
については、経費の節減効率化
を図っていききたいと思います。

重点施策

昭和五六年度における施策は昭和六〇年を目途に町の総合計画
を踏まえ、将来展望の中で計画的節度ある建設事業を実施し、町
民とともに住みよいまちづくりを推進するために次の施策を重点
に行いたいと思います。

一、人間性豊かなまちづくりのため、
教育施設の整備充実と人づくり

二、健やかなまちづくりのため、
スポーツの振興と健康づくり

三、幸せのための社会福祉の充実のため、
国際障害者年事業、
老人・母子・児童福祉の充実

四、安全で災害のない、

住みよいまちづくりのため、
交通安全、防犯活動、生活環境の整備

五、豊かで活力あるまちづくりのため、
土地基盤整備と産業の振興

六、新しいまちづくりのため、
市街化区域の整備、街路の促進

人間性豊かなまちづくり

新設中学校建設の推進

幸田文化公園(仮称)の設置

まず第一の人間性豊かなまちづくりの為の教育施設の整備充実については、何よりも新設中学校の建設の推進であります。深溝、豊坂学区の理解と協力を得五七年度建設、五八年開校を目標に本年度中にどうしても敷

地造成を図りたいと思います。

又、本年度は幸田小学校の運動場整備、坂崎小学校のプール修繕工事、豊坂、坂崎小学校給食エレベーターの建設等六、四六六万円の予算を計上しました。そして、現中学校の危険校舎、特別教室については年次計画に基づき実施を考えていきたいと思ひます。

文化公園予定地 (芦谷蒲野)

市街地における公園の整備は緑のマスタープラン、町総合計画に基づき五七年度県の事業により地区文化広場の建設を目標に、本年芦谷蒲野地区区内で約二分の用地を土地取得特別会計で取得し、幸田文化公園として文化社会教育施設の整備に着手したいと思ひます。義務教育費の父兄負担の軽減は年々行っておりませんが、本年は更に進路対策等について考慮しました。次に地区公民館等社会教育施設

設については、昭和五五年度において永野老人憩の家の建設により、町内各区に近代的な集会施設が整いました。今後は、これら施設の管理運営の充実改善に力を注ぎ、各地区におけるコミュニティ活動と併せ学校を中心とした学区コミュニティ費百八十万円を計上し、一層の推進を図ってまいりたいと思ひます。

なお、文化活動の一層の発展

の為、文化協会の活動費補助の増額、教育文化講演の充実、婦人指導員の設置、青年会組織の拡充強化に努力する一方坂崎郷土史助成、三河万歳、歌舞伎後継者の育成助成等の予算についても計上しました。

なお、私立幼稚園の就園奨励給食費補助金は四〇〇万円を計上しました。

は、昭和五四年度に県派遣体育指導員の設置により内容も充実してまいりましたが、本年はその後継者育成を目指すとともに体育協会の充実、体育指導員、地区スポーツ委員活動の充実と共に、地区スポーツ大会と婦人会活動としての各種スポーツの奨励を始めとして各種団体、各職域におけるスポーツの発展のため約六五〇万円を計上しました。

健やかなまちづくり

スポーツの振興

予防医療の充実

第二の健やかなまちづくりのためのスポーツ振興であります。若者には希望を老人には健康を一般には生活を豊かにするため町民こそって活力あふれる郷土づくりを目指す「町民総スポーツ運動」は、年々盛んとなり地区、職場に定着して参りました。本年も更に中央運動場テニス

コートは夜間照明、坂崎運動場体育センター広場の整備等二、〇六〇万円を計上しました。

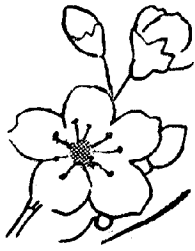
また、屋内体育施設についても中央小学校の体育館に加え、勤労者体育センターも完成したので一層屋内スポーツも盛んに致したいと思ひます。社会体育の指導充実について

次に健康づくり推進については、予防対策として昨年から実施したミニドック検診を始め、乳がん検診の助成、子宮がん検診、精密検査、新生児検診等に一、五二七万円を計上し、予防医療の充実を図りました。救急医療対策としては、消防署による救急業務の一層の充実と休日診療、二次救急対策費二七九万円を計上し、救急医療

対策の充実を期したいと思えます。また母子健康センターを軸として母子の健康管理診断一、三六一万円を計上し、老人検診については、老人福祉センターにおける検診を充実するため五九六万円を計上し、予防対策のため保健婦、看護婦の充実を図りましたが、保健センターの増改築についても他施設との関連も踏まえ、その計画を進めたいと思っております。

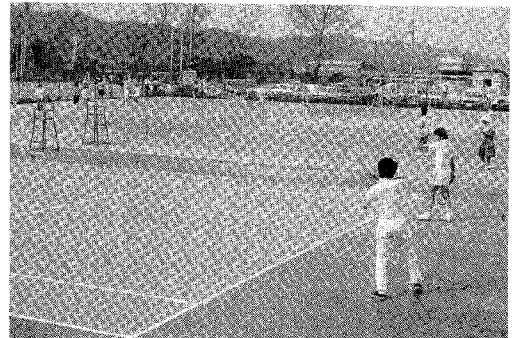
更に環境衛生を推進するため鼠(そ)族駆除、狂犬病予防、雑草処理等の推進を図るための予算を計上しました。

本年度新規事業として、幸田町を永任の地として定め、幸田町と運命を共にされる人々のため、又祖先を慕い敬い、感謝し更に住みよいまちづくりの気風を醸成するため既設公共墓地を整備し、拡張する事業に対し、区長又は代表者を対象とした整備費補助を計上しました。



▲母子健康センターでは各種の検診が

▼夜間照明を待つテニストート



幸せのための社会福祉

授産施設の建設

乳児保育と延長保育

第三の幸せのための社会福祉の充実であります。

我が国の高齢者人口は八〇年代を迎え、年とともに増加が見込まれています。これらの方々が、健康で幸せな老後を送るためには町民が老人を敬い、

大切にする気風を育てながら、老人福祉センターを中心にした

健康管理と老人生きがい対策には趣味の陶芸やゲートボール、民謡を奨励する一方スポーツ大会も更に盛んになるよう配慮し生きがい対策費は老人福祉セン

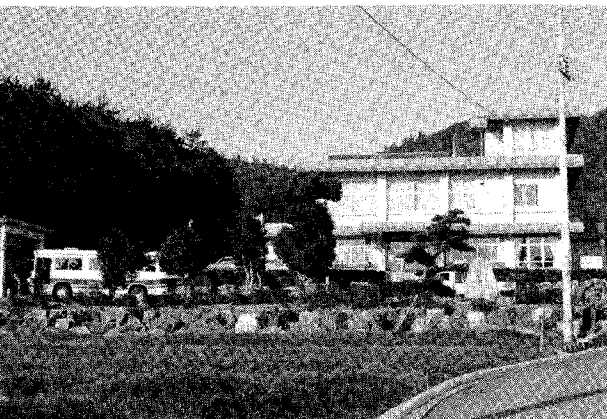
ター運営費を含め二、四〇六万円を、老人医療給付費は一億〇、九五五万円であります。

また、遺児家庭、母子家庭、父子家庭等を対象にした予算は六四五万円あります。

特に、心身障害者対策については、本年は「完全参加と平等」を目標に国際障害者年であり、二・五万円を始めとして各種行事等予算の充実に努めました。が、これら障害者対策は本年を初年度として数年間に亘り国・県の対策に即応しつつ関係者の意見を聞きながら、目標の達成のため努力したいと考えます。新たに戦傷病者に対する医療扶助、原爆被災者扶助等細部にも配慮したつもりであります。

次に児童福祉の充実については、

保育園における乳児保育と併せて働く婦人のための延長保育を本年から行うことといたしました。が、何分未経験な面も多いので経験と研究を重ね、よりよい保育に努めたいと思



▲福祉行政のメインセンター、授産所が併設される予定です。



ますので温い御理解御指導をお願いしたいと思います。また、子ども会の育成補助の増額を図り自主的活動を基調として仲間づくりと責任感、協同性を育てることに努力したいと思います。

安全で住みよいまちづくり

交通少年団の組織

道路整備と治水対策

第四の安全で災害のない住みよいまちづくりであります。

みんなで交通事故をなくそうを念願に交通安全対策を進めたいと思います。そのため本年は

全小学校の学区に交通少年団を組織し、老人用安全タスキ、交通安全標識等、交通安全対策費四六二万円(前年比九三・四増)を計上するとともに土木費において通学、通園道路整備費一、〇〇〇万円、ガードレール等

安全施設の整備に五四五万円の事業費を計上しましたが、交通ルールを守る意識昂揚に努めたいと思います。

次に青少年を非行から守り、犯罪のない町づくりのため防犯灯設置費補助を含め防犯活動推進費二四八万円を計上しましたが、特に近年、校内暴力、非行少年の低年齢化が著しい今日、そして、二一世紀をになう青少年を家庭、学校、地域一体とな

って非行、不良から守るためよいことをほめ、悪いことを叱ろうの運動を強力にきめ細かに推進したいと思えます。

「資源を大切に町を美しくする」運動をみんなで推進するため、粗大ゴミ回収回数を増やすとともに住宅地区における簡易焼却炉の設置補助に加え、地区公民館等に焼却炉を設置する場

合の助成措置を講ずるとともに
「資源を大切に町を美しくする」運動をみんなで推進するため、粗大ゴミ回収回数を増やすとともに住宅地区における簡易焼却炉の設置補助に加え、地区公民館等に焼却炉を設置する場合の助成措置を講ずるとともに

点検、機能保全の指導を徹底するとともにし尿汲取り業務については適正な営業競争により、サービスの向上と不正の防止に万全を期したいと思えます。

なお、これらの問題の解決と快適な生活環境の保持のためには流域下水道の早期実現が急務であります。今その最もネックとなっている流末処理場の漁業補償に関係機関が全力を挙げ

ております。本町としても、関係市町とともにこれの解決に協同して当っていくとともに、事業実施の具体的内容について調査、研究、啓蒙に逐次努力してまいりたいと思えます。

また、都市下水路の整備については本年は八、五二三万円を計上し、前田川を始め八か所の整備を予定しております。

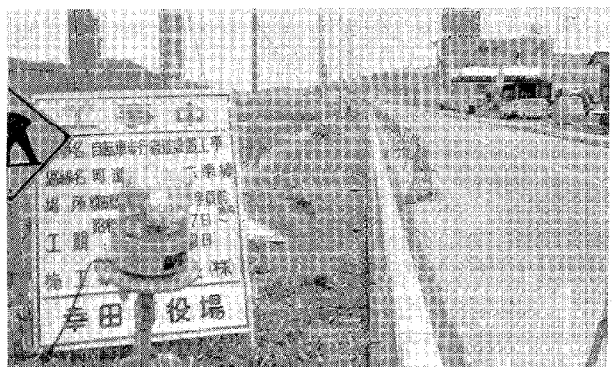
また、排水路、生活道路面についてはまず農村整備モデル事業で排水路六か所三、五二〇万円、緊急防災事業による排水路整備三、〇〇〇万円、生活用道路整備については農村モデルで

五路線五、四五〇万円、土木事業で舗装側溝併せて八、〇〇〇万円、道路維持修繕二、一四五万円は主として親切行政により実施し、住みよいまちづくりに全力を挙げる所存であります。

次に、災害のない町づくりについては、河川の水質保全と併せ河川改修費二、九五四万円、河川愛護作業に一八四万円、また急傾斜防災工事、湛水防除事業も引き続き実施しますが、根本的には広田川の改修を基に柳川等各河川の改修が必要であり

その促進のため関係地区の理解協力を要するものであります。なお、災害、火災から町民の生命と財産を守るため消防の充

実と地域防災組織の整備を一層推進するため、消防費については一億四、六六〇万円昨年比二五・二増、二、九五二万円を増額計上しました。これらは化学消防車の購入、防火水槽、消火栓等の施設の整備充実を図るとともに署員二名の増員を行い消防署職員の資質向上、消防団員の志気向上、住民参加による防災体制確立のため、地域防災用器材支給の予算を計上し「災害からふるさとをみんなで守ろう」の運動を強く進めたいと思



活力あるまちづくり

農工商の振興

カントリーエレベーターの助成

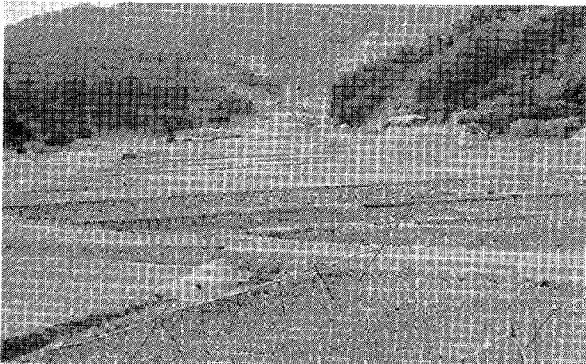
第五の豊かで活力があるまちづくりであります。

そのための土地基盤整備については、農村モデル事業によるほ場整備二か所四・八畝、単独ほ場整備二か所二・八畝を実施し、矢作南部農地造成事業、湛水防除事業、幡岡農道整備、老朽溜池事業二か所、一般農道須六線等県営土地改良事業の総額は約四億円で、うち町費負担約四、八〇〇万円を計上し、単県土地改良事業は五、一六八万円町費一、五〇〇万円の予定で推進いたします。

特に矢作農業用水南部幹線配管工事の進捗に併せて、関連事業としてのほ場整備を積極的に推進し、用水利用と近代農業への基盤作り、生活環境の整備を図るため、坂崎・大草地区、菱池・野場地区を県営で、高力地区は土地総合整備事業、上六栗等を始め小さな区域においては

団体営事業で実施するため、地区説明会等を積極的に行い年次計画を樹て全町のほ場整備計画実施推進を図る考えであります。まずそのため、補助要綱の見直しを行い、負担の軽減を考慮してまいりたいと思っております。

農業振興については米の生産調整は前年目標一五八畝が一



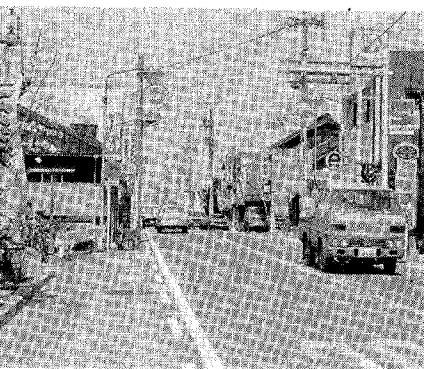
四畝と約二三％の増加であります。水田再編対策と農地利用増進対策事業と積極的真剣に取り組み、いちご、なす、筆柿を中心に、また大豆、麦の集団栽培を定着させたいと思っております。

これら事業推進のため四、四五〇万円を計上するとともに、本年は特に農協総合センター地内に地域農業生産総合対策事業によるカントリーエレベーターの建設事業費六億五、〇〇〇万円（町費を含め補助三億五、一〇〇万円）を予定し、それにより米麦の乾燥貯蔵を容易にし、委託栽培の拡大定着を促進したいと思っております。

事業の指定を受けるべく計画費三六一万円を計上しました。果樹振興対策として、みかん園転換事業や品種改良、落葉果樹振興等に五〇二万円を計上し畜産振興についても水田裏作飼料と優良種豚、牛の導入を重点に進めたいと思っております。また、生活環境改善対策事業を農業普及改良事務所の指導を受け推進し、農業経営育成と併せ農業集落排水事業の計画を進め、農村集落環境の一層の整備を図っていききたいと思っております。

林業振興については、特に松くい虫の防除に全力を挙げ三、二二三万円を計上し造林を奨励し、また林道開設は須美南山線の継続実施と驚ヶ峯線等については改良事業を行い五七〇万円舗装三五〇万円、維持修繕三一五万円を新たに計上しました。林道についての改良は年次計画によりその整備を図って行くつもりであります。また地区緑化事業も二〇〇万円、美しい環境づくり二〇一万円を予定しました。特用林産物の生産奨励事業として、椎茸栽培施設補助一五六万円を予定しました。これら林業振興費は七、六七五万円の前年比一二二五万円増、森林の持つ公益性を重視しふるさとの山をより美しい緑の山にするとともに、内地木材のより利用と林地の生産性を高める努力をしたいと思っております。

次に商業の振興については、「買物は町内で」の運動を商工会を中心に進め、買物の町内利用を高め商店販売額の向上を図るため更に指導体制を整備し、商工会経営補助増額、振興資金の増額信用保証料への補助等を行うとともに、幸田駅前・三ヶ根駅前商店街の再開発集積化の調査計画推進等商工振興費は、



(次ページへ)



▲不動ヶ滝周辺

(前ページより)
前年比四三三万円増の二、七一
一万円を計上し、引き続き買物
客のための駐車場の整備拡張と
岩掘幸田線の側溝整備を行い、
歩行者の利便を図りたいと思っ
ます。

観光事業については、不動ヶ
滝周辺の野外教育面も含めた整
備を行い、大井池観光用便所、
本光寺椿公園の整備、永野公園
の補修を実施して町民の憩と観
光レクリエーションの場所に資
するため一、三一九万円を計上
しました。

更に企業については、幸田町
における企業活動は、第一・第
二工業団地とも軌道にのり設備
従業員も充実してまいり、日本

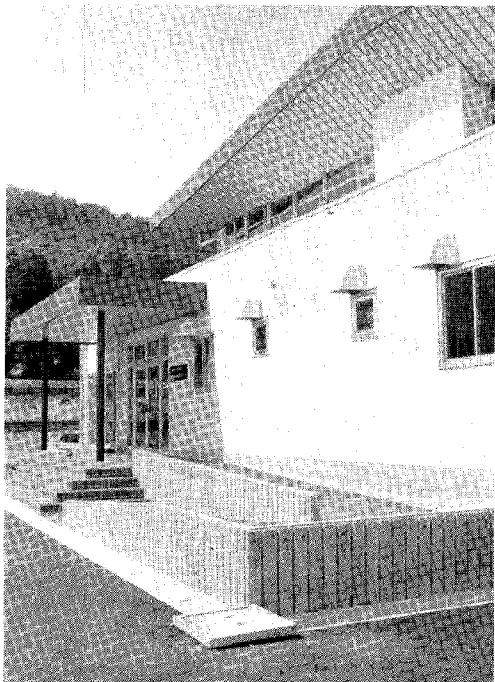
電装の幸田地内工場の建設も進
んでおります。これら企業が町
及び地域と十分な連帯感の上に
町民の雇用安定拡大と所得増進
とともに、企業が安定した生産
活動に励むことの出来るよう連
絡を緊密にし、職域スポーツ奨
励のため勤労者体育センターの
高度利用とともに企業も町の行
事、運動会等に積極的に参加さ
れることを期待するものであり
ます。

なお、幸田町は、東西三河の
交通の要衝として、また豊田に
も近いため自動車関連企業も今
後とも本町に進出立地の希望が
あるようでありますが、これら
は町の総合計画と、土地利用計
画を十分勘案し更には関係住民
の協議を得、慎重に対処して参
りたいと考えております。なお

町内既存中小企業の団地造成の
推進を前向きに研究したいと考
えます。

次に町内企業、勤労者、通勤
者のための労働費については、
本町内企業の活発化に伴い勤勞
者も増加し、町税に占める給与
所得の比重も年とともに増大し
ていることに鑑み本年は勤勞者
体育センター運営管理を始め、
新就職者の激励会を始めとする
労務対策事業、通勤対策として
駅西駐車場の適正管理と勤勞者
住宅資金融資事業の増枠等二、
六七四万円を計上しましたが、
一方県が計画している岡崎市上
地町の県勤勞者福祉会館の早期
建設を関係市町と強力に進めた
いと思ひます。

なお、公営住宅については老
朽町営住宅の改築計画を進める一



▲勤勞者体育センター

方、区画整理区内において所要
敷地の確保に努めたいと思つて
おります。

新しいまちづくり

市街化整備促進委員設置

計画的なまちづくり

第六に新しいまちづくりのた
めの市街化区域の整備を始めと
する土木事業であります。

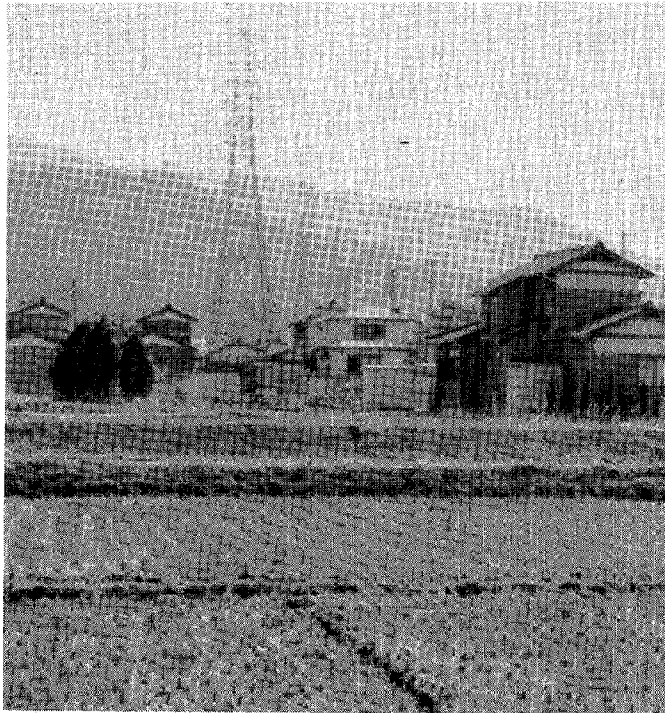
本町の市街化区域四四六分の
うち工場団地を除いた区域は指
定後、十年を経過しましたが一
地区一二分の区画整理が工事中
のみで、他は既成集落に接続し
無秩序な建築が進み道路は狭少、
排水は不良化が目立っており、
これら市街地の整備促進は目下
の急務であります。そこでこれ
らの整備を促進するために市街化
区域を持つ大字区毎に整備促進
委員会を組織し、地区毎の実情
に副った整備を促進するための
促進費四五万円、次に農住組合
法案施行に併せ、農住型土地利
用転換計画は大草山添、横落長
根野において事業費四〇〇万円
にて計画を県の助成を受けて行
い、三ヶ根南、里前、仲田三地

区一七分のについては準備委員も
出来たので本年中に認可を受け
るべく、その調査計画費六六五
万円を計上することとしました。
なお、幸田駅西地区の街路は錦
田ガード計画と併せ是が非でも
具体化する必要があります。

一方ほ場整備済の地区につい
ては、その区画を生かし出来る
限り事業費の節減を図りつつ、
マスターに沿った道路等の整備
を促進するため関係者の負担の
軽減を図る所存であります。

また、幸田駅前地区の商業地
区については公共施行区画整理
を前提に各種助成措置を取り入
れ実施する方向で、一層の具体
化を図って行きたいと思ひます。

ローマは一日にしてならず、
されど一年十分の整備は十年間
で一〇〇分の整備が完了します。
計画的に根気強く取組んで住み



スプロール化が進む市街地

よい新しいまちづくりを進めていきたいと思ひます。

次に都市下水路四か所、排水路四か所、計八か所、八、五二万円、マスタープランによる道路整備五路線六、九三二万円既成集落地内整備一、〇〇〇万円、公園については芦谷・蒲野地区を近隣公園として用地取得矢尻地区を地区公園として整備計画、児童公園として沢渡地区の整備を当面の目標とし、また将来的には墓地公園を計画していきたいと思ひます。

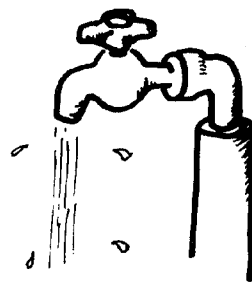
一般土木としては道路改良八路線八、九六五万円、橋梁二か所二、一三〇万円、河川改修費二、八七九万円、維持修繕三、一七三万円、舗装側溝九、〇〇〇万円、交通安全一、七七五万円等住宅費を含め土木費の総予算は六億二、三三七万円の前年比一億二、八九八万円の増額で二六・一逦と一般会計平均伸び率を大きく上回っておりますが、これら土木事業についてはなによりも土地所有者の承諾が先決でありますので、関係土地所有者並びに関係住民の御理解御協力をお願ひするものであります。

特別会計・企業会計

国民健康保険
特別会計

特別会計の国保会計は、六億九、七六三万円の前年比二五・九逦増であります。本町における国保加入者の平均療養費は一人当り約八万六、〇〇〇円で西三河五町に比し、なお低い額であります。これは老人福祉センターの老人検診を始めとする予防医療が効果を挙げている結果と思われまますので、本年はミニドック検診等に対する助成を始めとして、予防医療にも一層意を注いでいきたいと思ひます。しかし、医療費の増高は甚だ急激で、昨年三〇〇万円であった一般会計よりの繰り入れを一、二〇〇万円と致しましたが国民健康保険税については、それでも前年比約二六逦の負担増をお願いすることとなりました。関係被保険者の御理解と御協力を切にお願ひ致します。

水道事業
会計

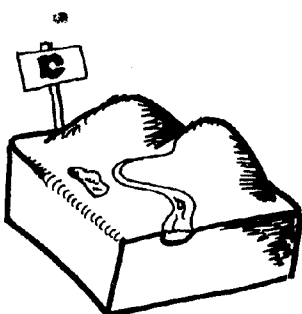


水道事業会計は三億四、四五九万円あります。本町の加入者六、〇八四戸、九六・六逦の普及率は、県下でも極めて上位で防疫上また町民の健康保持にも大きく貢献しているところでありまます。本年においては隣接市町村の料金値上げが予定されていますが、本町水道においては経費の節減に努め一般会計からは二、五〇〇万円の補助を行い、水道使用料の順調な収入を期待し水道料金の改定は本年も一昨年引き続き行わず、受益者の負担増を抑えることといたしま

土地取得
特別会計

した。水道事業について一層の御協力を願ひするものであります。

土地取得特別会計は、七億五、七九九万円に関係項目のなかで殆どふれましたが、本年度事業として南部公共用地造成費二億円、幸田文化公園関係用地費等二億五、二三〇万円、一般先行五、九二〇万円を計上し今後の町政発展に資したいと思ひます。



結び

あなたの意見を町政に

以上昭和五十六年度の予算の概要と施政の方針について述べましたが、これらの予算を適切に執行し、事業を完遂するためには町民の理解と協力が何よりも必要でありますので動く町政教室、対話集会、町政懇談会、町政モニター、住民意識調査、「広報こうた」の一層の充実を図るとともに、総合計画ミニ版、町政要覧の作成、広報板の活用、行政報告映画の作成、更には広報車による各種施策の啓蒙周知を図り広報広聴活動を積極的に推進したいと思えます。そのための関係予算として一、〇〇八万円を計上しました。町民参加による町政、あなたの意見を率直にお寄せ下さることを切望します。

昭和五十六年度

町民行動テーマ

「資源を大切に
まちを美しくしよう」

「町民総スポーツ運動を
推進しよう」

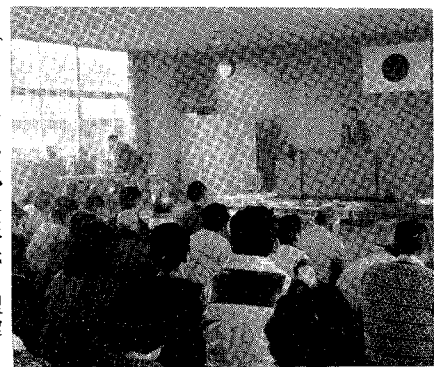
「みんなが青少年の非行防止と
健全育成に努めよう」

「みんなの自覚で
交通事故をなくそう」

に、町民一致してこの目標の成果実現のための行動を積極的に、そのための町民の協力を期待するものであります。更にこれら、昭和五十六年度事業の推進にあつてはその担い手である役場職員の資質の向上と活気ある職場づくりのため連帯

感、親睦を深めるとともに、健康管理並びに福利厚生面にも意を注ぐとともに実効ある職員研修を通じ、職員の意識高揚を図り、職員一丸となって町民の期待に応える所存であります。

最後に国・県道、県管理河川砂防河川等の改修改良等は町民の生活、児童の通学、通園、生産活動に直結した願望であり、特に蒲郡競艇による深溝地区の国、県道の改良は一刻を争う目下の急務であります。そのため昭和五十五年度県においては、国道二四八号線を始め県道で一三路線九億八、〇二六万円、河川関係で一か所三億一、二八〇万円、急傾斜九四〇万円、合計一三億〇、二四七万円の事業を実施してきましたが国の公共事業予算は本年は一段と厳しいので、それ



れぞれの関係地区住民の理解と協力のもと議会関係者等とともに精力的に関係機関に働きかけ、全力を挙げて整備促進に邁進する所存であります。

なお、柳川改修はこれらの河川改修の試金石として認識し、是非とも計画に基づく改修の早期実現を県とともに推進したいと思えます。



広報コラム

春と秋はいろいろと需給の活発なときです。マイホームの取得シーズンともいわれています。ある不動産会社の調査では、建て売り住宅は四月が最もよく売れるといわれています。

さて、建て売り住宅を選ぶコツは業者の用意したパンフレットに目を通し、何といつても現地に行き検分することが大切です。

こうした現地調査は静かな日曜日よりウィークデーに、晴れた日ばかりでなく、雨の日も試してみます。マイカーでなく、電車、バスを利用して「足」で訪ねてみることでしょう。

編集後記

今回の臨時号は、三月定例議会の冒頭(三月九日)に町長が表明した「施政方針と予算の概要」を全文掲載したものです。予算については、本来は千円単位で表示するものですが、文中に使用される予算額については、紙面の都合上また読みやすさの面で千円単位を四捨五入し、億、万単位としていただきますのでご留意のうえご覧いただきます。と思います。